

脳卒中罹患の概要

◆ 脳卒中登録票提出後、MONICA基準※に沿って判定

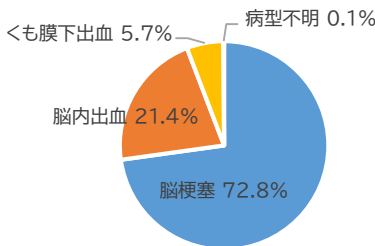
※ 世界保健機関(WHO)のMONICAプロジェクト(心血管疾患の傾向と決定因子のモニタリング)で使用されている診断基準

◆ 診断病型は、医療機関が記載した臨床診断名を採用

脳卒中発症期間：2023年1月～12月

提出依頼機関	提出機関	脳卒中登録数	重複除外	判定除外	脳卒中罹患数	罹患率 (10万人年あたり)	登録票上の死亡	致死率 ¹ (%)
721	40	5095	100	27	4968	275.5	619	12.5

脳卒中罹患数に占める診断病型の割合



【診断病型】	脳梗塞	3618	200.7	288	8.0
	脳内出血	1064	59.0	223	21.0
	くも膜下出血	283	15.7	107	37.8

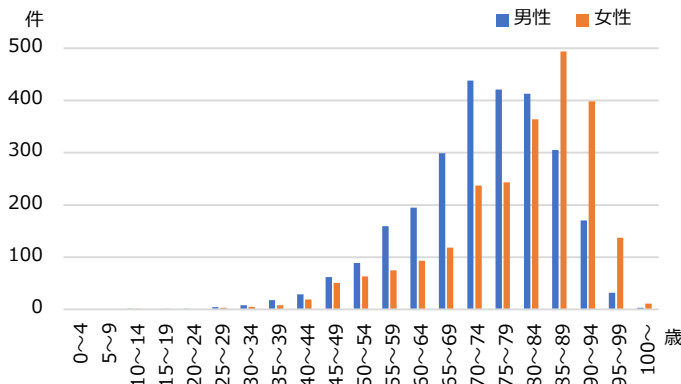
¹ 致死率(%) = 登録票にて確認された死亡数 / 脳卒中(または各診断病型)の罹患数 × 100
(病型不明3件は算出なし)

■ 発症登録事業からみえる

脳卒中発症の特徴

- 脳卒中罹患数は、男性は70～84歳で多く、女性は85～89歳で最大であった
- 脳卒中罹患率は、年齢が高いほど上昇した
- 病型別罹患数は、脳梗塞と脳内出血は男性が多く、くも膜下出血は女性が多かった
- 病型別致死率は、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞の順に高かった

<図1-1 脳卒中 性・年齢階級別罹患数>



<表8-2 病型別 リスク疾患ごとの再発オッズ比
(性・年齢調整後多変量分析)>

リスク疾患	再発オッズ比	95%信頼区間		有意確率
		下限	上限	
脳梗塞				
高血圧合併	1.84	1.52	2.23	<0.01
糖尿病合併	1.42	1.20	1.67	<0.01
心房細動合併	1.17	0.98	1.40	0.09

2022年との比較とこれから

- 協力医療機関数は変化なかったが、登録数、罹患数は約100件減少した
- 一部集計方法を変更したため、年齢階級区分の集計や、年齢調整を行う分析の比較は注意が必要である
- 今後も発症情報を蓄積して、経年的に分析を加えていく

